

# 都道府県・市町別の結果

## 1 都道府県の状況

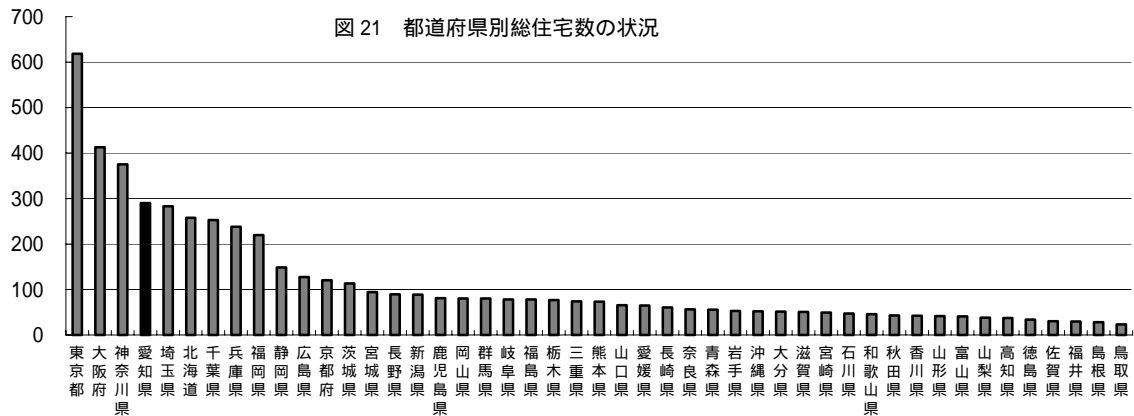
### (1) 総住宅数

#### 本県の増加率、全国平均を上回り 8.1%、総住宅数の 5.4% を占める

全国の総住宅数は 5389 万 900 戸で、平成 10 年から平成 15 年までの 5 年間に於ける総住宅数の増加率は 7.3% となっており、本県の増加率は全国平均を 0.8 ポイント上回っています。

また、総住宅数を都道府県別にみると、東京都が最も多く、本県は、大阪府、神奈川県に次いで第 4 位で全国の 5.4% を占めています。(図 21、付表 17 参照)

(万戸)



### (2) 住宅の建て方

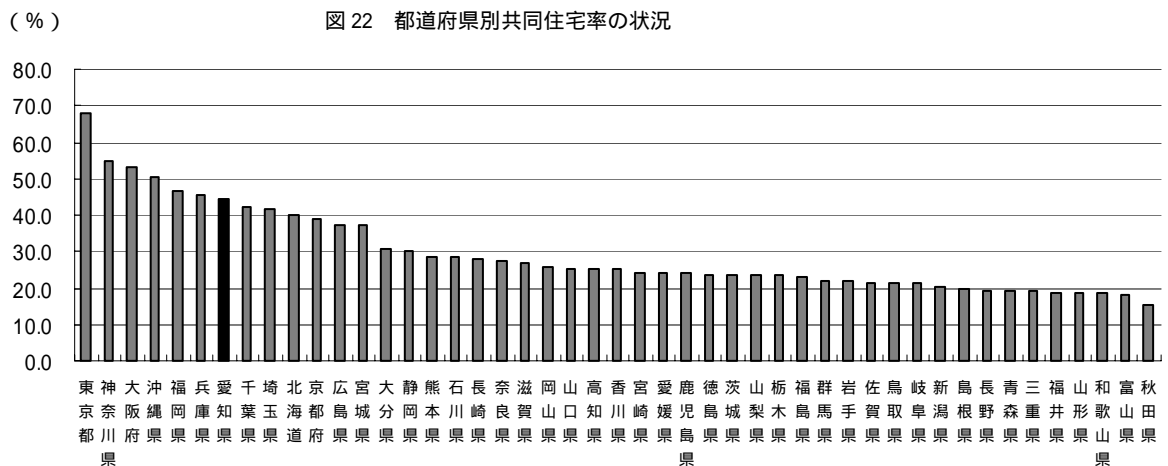
#### 本県の共同住宅率は、全国 7 位

全国の総住宅数を建て方別の割合でみると、「一戸建率」は 56.5%、「共同住宅率」は 40.0% となっており、本県の割合は「一戸建率」は 52.1% と全国平均を 4.4 ポイント下回るものの、「共同住宅率」は 44.1% で 4.1 ポイント上回っています。

また、「共同住宅率」の割合を都道府県別にみると、東京都が最も高く、本県は、神奈川県、大阪府、沖縄県、福岡県、兵庫県に次いで第 7 位となっています。

(図 22、付表 17 参照)

(%)



### (3) 居住世帯の有無

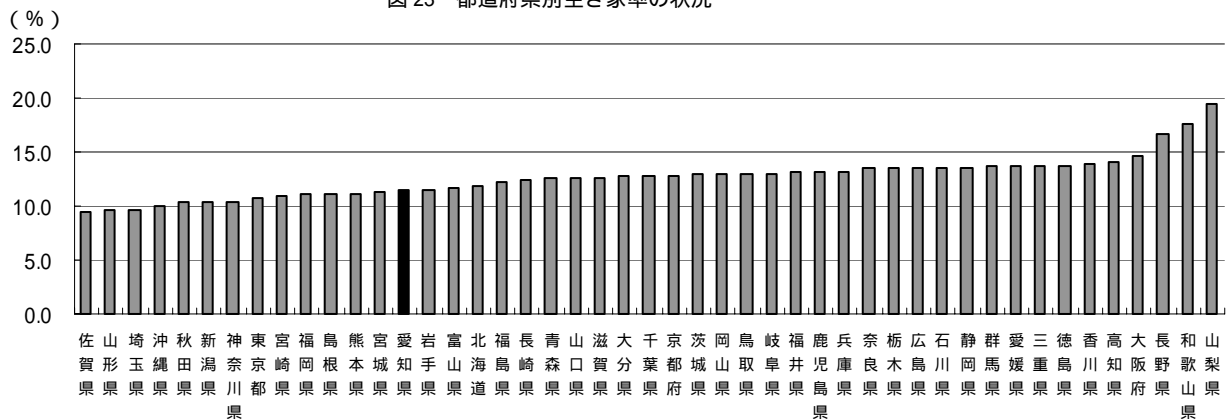
#### 本県の総住宅数の11.5%が空き家

全国の空き家数は659万3300戸で、「空き家率」は12.2%となっています。

また、本県の空き家数は33万3400戸で、「空き家率」は11.5%となっており、全国平均を0.7ポイント下回っています。

なお、「空き家率」の割合を都道府県別にみると、佐賀県が最も低く、本県は、山形県、埼玉県、沖縄県、秋田県、新潟県、神奈川県、東京都、宮崎県、福岡県、島根県、熊本県、宮城県に次いで第14位となっています。(図23、付表17参照)

図23 都道府県別空き家率の状況



### (4) 所有の関係

#### 本県の持ち家率、全国下位7位

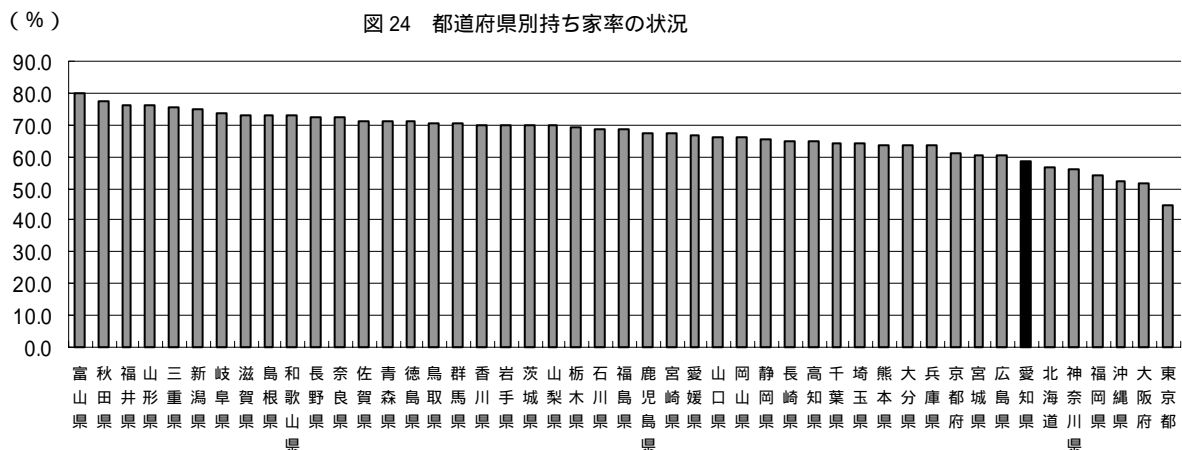
全国の持ち家数は2866万5900戸で、「持ち家率」は61.2%となっています。

また、本県の持ち家率は148万8400戸で、「持ち家率」は58.7%となっており、全国平均を2.5ポイント下回っています。

なお、「持ち家率」の割合を都道府県別にみると、東京都が最も低く、本県は、大阪府、沖縄県、福岡県、神奈川県、北海道に次いで下位第7位となっています。

(図24、付表17参照)

図24 都道府県別持ち家率の状況



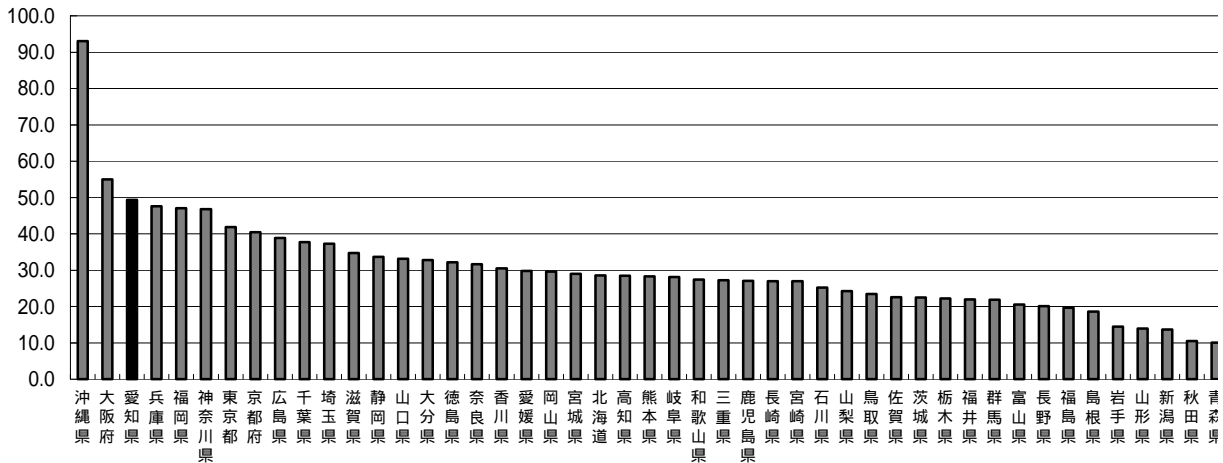
(5) 建物の構造

**本県の非木造率は、全国3位**

全国の居住世帯ありの建物を構造別の割合で見ると、「木造(防火木造を含む)」は61.4%、「非木造」は38.6%となっており、本県の割合は「木造(防火木造を含む)」は50.7%と全国平均を10.7ポイント下回るものの、「非木造」は10.7ポイント上回っています。

また、「非木造率」の割合を都道府県別にみると、沖縄県が最も多く、本県は、大阪府、に次いで第3位となっています。(図25、付表17参照)

(%) 図25 都道府県別非木造率の状況



(6) 高齢者等のための設備

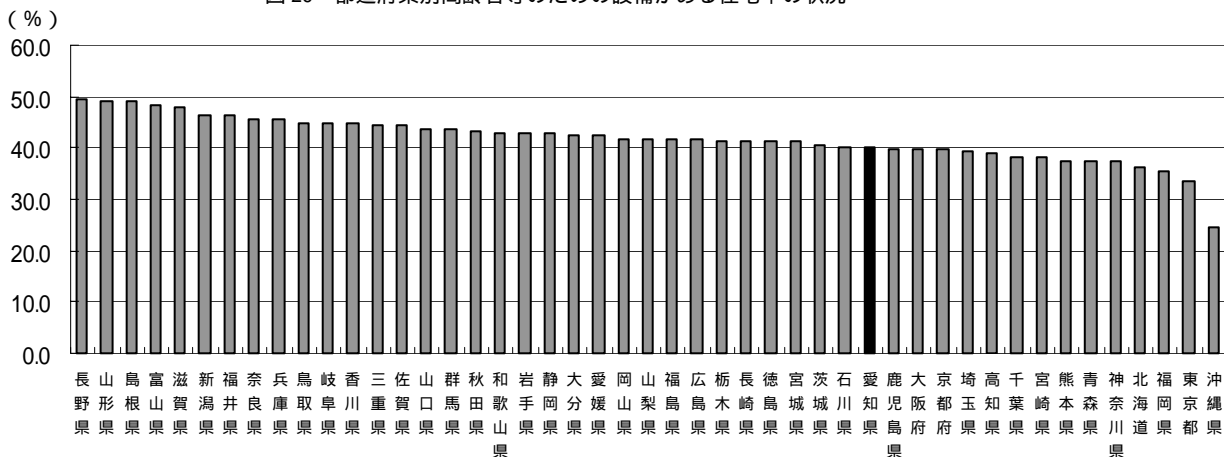
**本県の高齢者等のための設備のある住宅率、全国平均を上回る**

全国の高齢者のための設備がある住宅数は1865万8900戸で、「高齢者等のための設備がある住宅率」は39.8%となっています。

また、本県の高齢者のための設備がある住宅数は101万6100戸で、「高齢者等のための設備がある住宅率」は40.1%となっており、全国平均を0.3ポイント上回っています。

(図26、付表17参照)

図26 都道府県別高齢者等のための設備がある住宅率の状況



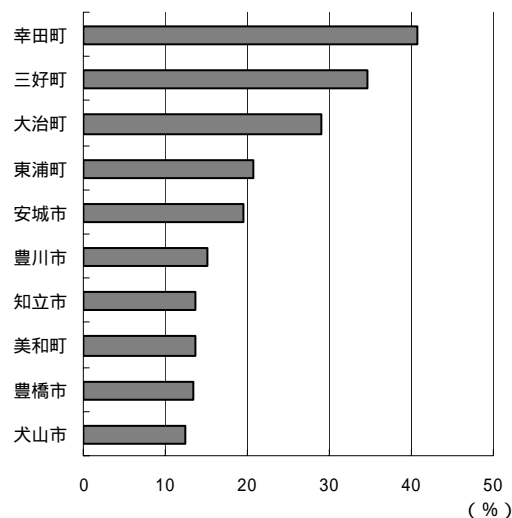
## 2 市町の状況

### (1) 総住宅数

#### 増加率の最も高いのは幸田町の40.6%

総住宅数を市町別にみると、名古屋市が105万4360戸で最も多く、次いで、豊橋市が14万3320戸、岡崎市が13万1020戸となっています。また、平成10年から平成15年までの5年間に於ける市町別の総住宅数の増加率をみると、幸田町の40.6%が最も高く、次いで、三好町34.6%、大治町29.0%となっており、27市町で県平均の増加率8.1%を超えています。(図27、付表18参照)

図27 市町別総住宅数の状況



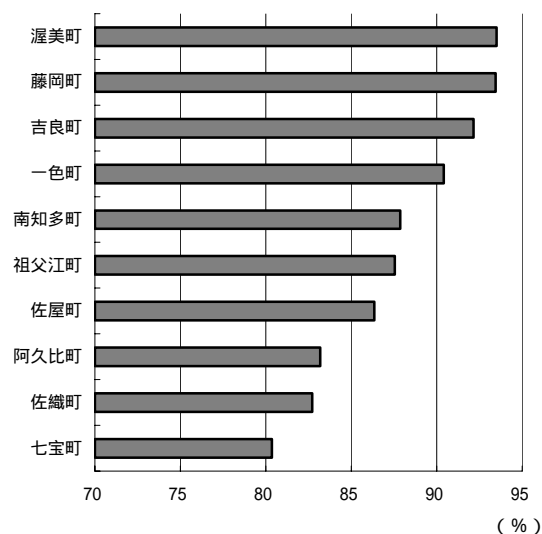
### (2) 所有の関係

#### 持ち家率の最も高いのは渥美町の93.5%

持ち家数を市町別にみると、名古屋市が40万8040戸(平成10年から12.6%増加)で最も多く、次いで、岡崎市が7万5790戸(平成10年から9.9%増加)、豊橋市が7万3720戸(平成10年から7.5%増加)となっています。

また、市町別の「持ち家率」をみると、渥美町の93.5%が最も高く、次いで、藤岡町93.4%、吉良町92.2%となっており、54市町で県平均の「持ち家率」58.7%を超えています。(図28、付表18参照)

図28 市町別持ち家率の状況

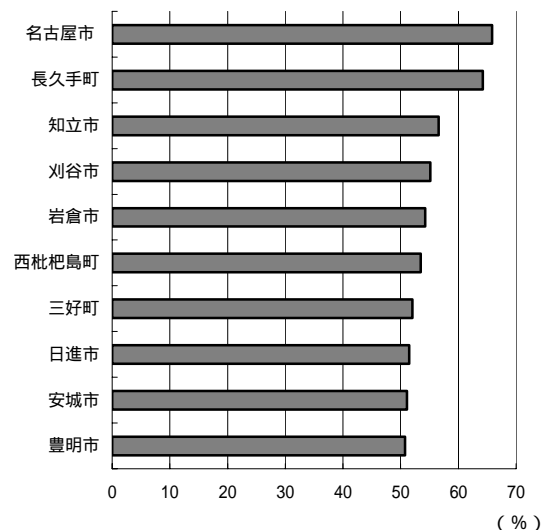


### (3) 建物の構造

#### 非木造率の最も高いのは名古屋市の65.8%

建物の構造を市町別にみると、「木造(防火木造を含む)率」は渥美町が90.6%で最も高く、次いで、藤岡町89.8%、南知多町86.8%となっています。逆に、市町別の「非木造率」をみると、名古屋市が65.8%で最も高く、次いで、長久手町64.2%、知立市56.6%となっており、10市町で県平均の「非木造率」49.3%を超えています。(図29、付表18参照)

図29 市町別非木造率の状況



#### (4) 住宅の建て方

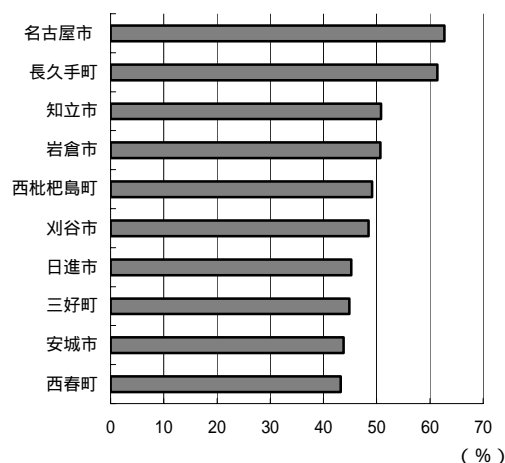
##### 共同住宅率の最も高いのは名古屋市の62.7%

建物の建て方を市町別にみると、「一戸建率」は藤岡町が95.0%で最も高く、次いで、渥美町94.7%、吉良町93.0%となっています。

また、市町別の「共同住宅率」をみると、名古屋市が62.7%で最も高く、次いで、長久手町61.4%、知立市50.8%となっており、8市町で県平均の「共同住宅率」44.1%を超えています。

(図30、付表18参照)

図30 市町別共同住宅率の状況



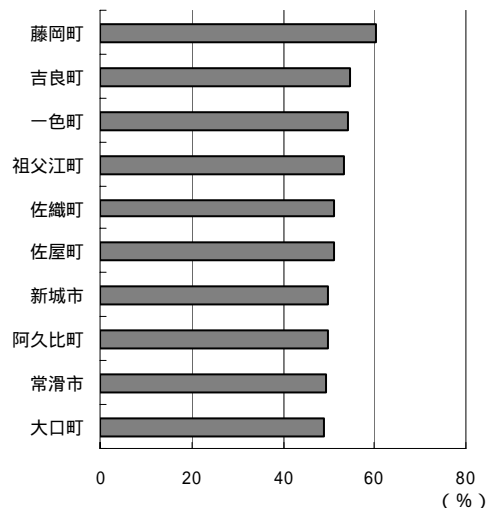
#### (5) 高齢者等の設備

##### 高齢者等のための設備がある住宅率の最も高いのは藤岡町の60.1%

高齢者等のための設備がある住宅数を市町別にみると、名古屋市が32万8730戸で最も多く、次いで、岡崎市の4万6960戸、豊橋市の4万6110戸となっています。

また、市町別の「高齢者等のための設備がある住宅率」をみると、藤岡町が60.1%で最も高く、次いで、吉良町54.5%、一色町54.3%となっており、45市町で県平均の「高齢者等のための設備がある住宅率」40.1%を超えています。(図31、付表18参照)

図31 市町別高齢者等の設備がある住宅率の状況



#### (6) 持ち家のうち耐震工事をした住宅

##### 持ち家のうち耐震工事をした住宅率の最も高いのは西枇杷島町の6.8%

持ち家のうち耐震工事をした住宅数を市町別にみると、名古屋市が1万2560戸で最も多く、次いで、豊田市の3000戸、岡崎市の2730戸となっています。

また、市町村別の「持ち家のうち耐震工事をした住宅率」をみると、西枇杷島町が6.8%で最も高く、次いで、小坂井町、一色町5.1%、一宮町、南知多町4.7%となっており、38市町で県平均の「持ち家のうち耐震工事をした住宅率」3.3%を超えています。(図32、付表18参照)

図32 市町別持ち家のうち耐震工事をした住宅率の状況

